

長年の経験で蓄積してきた
ビジネス知識やノウハウに
学問的な裏付けを添えて
次世代に繋げていきたい！

◆日本工業大学専門職大学院 技術経営研究科
技術経営専攻 起業・第二創業コース 修了

三原 光信さん (49歳)

●profile

20代で塗装工事会社「株式会社ワークコスモ」を起業し、現在も代表取締役として活躍中。2007年、経営に関する知識を体系的に整理し直そうと通信制大学の経済学科に入学。多忙な仕事の合間を縫って勉強を続けながら、2013年9月には同大学と並行して日本工業大学専門職大学院に科目等履修生として入学。2014年、7年がかりで通信制大学を卒業後、日本工業大学専門職大学院の起業・第二創業コースに改めて入学。2015年3月修了。



授業を受けた日は、記憶が鮮明なうちに復習しようと午前1時～2時まで机に向かっていたという三原さん。欠席した科目や、もう一度聴きたい科目は授業を収録したDVDを借りて視聴。また、働きながら学ぶ上で、「学生一人ひとりに対応してくれる先生方の親身さが本当に助けになりました」と感謝の言葉を口にする



[教えて！先輩Q&A]

オススメの科目は？

実際の企業経営者から事業の成功例、失敗例をじかに聞くことができるケーススタディ科目「起業と中小企業の第二創業（経営革新）」です。私もゲストスピーカーとなり、院生が自社をモデルに本気で討議し客観的な意見を述べてくれて、とても参考になりました。

仕事と勉強を
両立させる秘訣は？

生活の習慣、リズムにしておくことだと思います。私の場合、半年間はダブルスクールでしたので、時間配分に苦労しましたが、社会人あるいは経営者として大切なものを学べることを考えれば、一生のうちのわずか1年間ですので、意外に頑張れるものです。

Information

■働きながら1年間で修士号の取得が可能。
大卒以外の実務経験者にも門戸を開放！

多忙な社会人が働きながら学べるように、講義は平日夜間と土曜日に開講。週平均3日の授業を履修すれば、必要単位数を修得できるので多忙な社会人でも学びやすい。また、大卒者でなくても、事前の資格認定審査を受けて同等以上と認定されれば、出願することができる。

■高度な専門知識を養う3つのコースで
ベテラン講師が実務解決型指導を実践！

「中小企業技術経営コース」「プロジェクトマネジメントコース」「起業・第二創業コース」の3コースを用意。高度な専門職業人を育成するため実務家教員が院生との啓発的関係を重視した「実務解決型指導」を実践している。

奨学金給付
土日夜間のみ

夜間開講あり
土曜開講あり
一年履修

日本工業大学専門職大学院
技術経営研究科

【問合せ】
東京都千代田区神田神保町2-5
http://mot.nit.ac.jp/
03-3511-7591

◆入学の動機
自分を見つめ直して
承継に備えたかった

会社を立ち上げて30年近くが経ちますが、ここ数年は成熟期を迎えた会社のリセットと、事業承継の準備をする必要性を感じるようになりました。そこで、自分が培ってきた経営の知識や能力を客観的に振り返り、次の時代に引き継ぐものと改善すべきものを明らかにしたいと思ったことが大学院進学を考えた一番の理由です。本大学院を選んだのは、MOTに関連する多様な科目が設けられていること、勉強を1年間で完結できることに魅力を感じたからです。

で、事業承継の前提となる自社の将来像を具体化できるようにになりました。また、さまざまな業界で活躍するクラスメイトたちと真剣に議論を重ねることで、物事を多角的に捉える視点や冷静かつ論理的に考える力が増し、まさに1年間で10年分の経験を積んだ思いです。

◆今後の展望
ここで得た知識・人脈を
第二創業にも活かす

◆学んで良かったこと
自社のあるべき姿を
具体化・明確化できた

日本では馴染みの薄いファミリービジネス論や、中小企業が生き残るために必要なガバナンスのあり方、事業承継と株式移動の形態など、学んだ知識を活かして5年後を目標としている事業承継を円滑に実行することが当面の目標です。また、自身自身の第一創業として構想している社会貢献活動にも、本大学院で得た多くの気づきや人脈、さまざまな経験を活かしていきたいと考えています。